

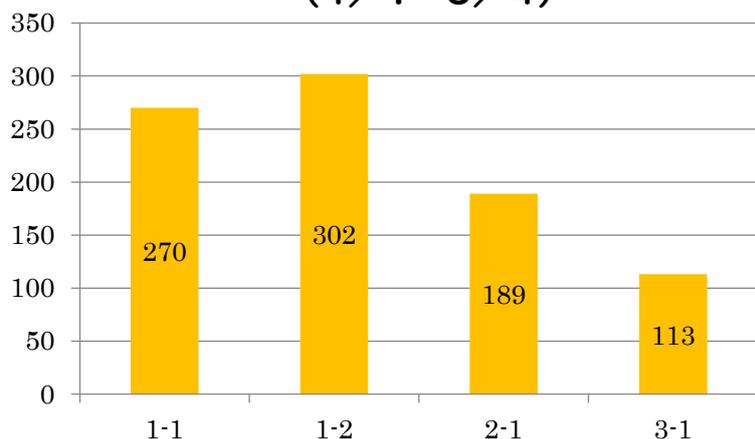
群青 3月号

串木野高等学校図書館
令和6年3月13日発行

昼夜の寒暖差はありますが、暖かな日差しに春の訪れを感じますね。

今年度も残りわずか……。新年度への気持ちの切り替えや進路を考えるヒントに読書がおすすめです!ストレス解消にもなりますよ。

2024年度 クラス別貸出冊数
(4/1~3/4)



総貸出冊数 874冊

一人あたり 10.3冊

2024年度 多読者

| | |
|--------------------|------|
| 1. 平石 都航 さん (2-1) | 70 冊 |
| 2. 黒木 瑠依 さん (1-1) | 62 冊 |
| 3. 井上 華凜 さん (1-2) | 59 冊 |
| 4. 大平 希星 さん (1-1) | 55 冊 |
| 5. 萩木場 伊織 さん (2-1) | 48 冊 |
| 6. 中村 温仁 さん (1-1) | 34 冊 |
| 7. 田代 夏海 さん (1-2) | 32 冊 |
| 8. 西元 しずく さん (1-2) | 27 冊 |
| 9. 橋口 結友 さん (1-2) | 23 冊 |
| 9. 長谷川 弥恩 さん (1-2) | 23 冊 |
| 10. 中夷 絢耀 さん (1-2) | 20 冊 |

ご利用ありがとうございました。
来年度も、学習・読書・休憩の場
として、ご活用よろしくお願ひします。



春休み期間 特別貸出
一人 10冊まで貸し出しします!
*現在貸出中の本は、
3月22日までに返却又は貸出延長を
お願ひします

西菌事務長先生 おすすめの本

『ニングル』

倉本 聡



私のおすすめの一冊は…
2023年10月に新装版が発行された、倉本聡さんの「ニングル」です。

この本は1985年12月に初版が出ていて、38年ぶりに新装版が発行されています。
このほかにも、人形作家の与勇輝さんの人形で綴られる「フォトストーリー ニングル」や、子ども向けに「ニングルの森」もあります。芸術分野では、すでに舞台化され今月オペラも上演されています。

そもそもニングルって何??
アイヌ語で「小さい人=こびと」を表します。（「コロボックル」とも違います。）

地球上のほとんどすべての生物が生きて行く上で、無くてはならない水はどこから来ているのでしょうか。

特に日本は、水道をひねると飲料水を普通に飲むことができるので、私たちは普段あまり気付かないし、考えることが少ないですね。

「ニングル」からのメッセージ、是非一度手にとって読んで考えてみませんか。



2024年本屋大賞/ミネート作品より

『スピノザの診察室』

夏川 草介

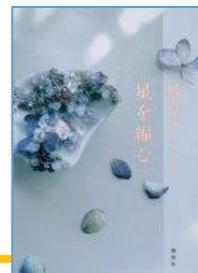


卓越した技術をもちながら大学病院を辞め、地域の病院に勤務する雄町先生。

登場する医師たちは、勇気と誇りと優しさをもち希望を忘れない。

「医療がどれほど進化しても、技術には人の哀しみを克服する力はない。私達にできることは、暗闇で凍える隣人に外套をかけてあげることなんだよ。」

静かに心に響く物語でした。



『星を編む』

風良 ゆう

『汝、星のごとく』で描かれた人々が懐かしく、改めて そういうことだったのか……と納得したり、悲しくも微笑ましく感じたり……。

北原先生の存在が大きくて、魅力的。これから穏やかにゆったりとしあわせな時間が流れますように。

『成瀬は天下を取りに行く』

宮島 未奈

我が道を進む成瀬あかりと幼なじみの島崎みゆき。

成瀬の言動がおもしろい。奇抜だけどマナーや気持ちを大事にしている、嫌味がない。

等身大で楽しく読めるのでは……。

